

八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 10月

工場棟の内部機器類解体作業をおこなっています

工場棟については、先月と同様に内部機器類の解体作業をおこなっています。今月は解体用重機が工場棟の内部へと完全に進入し、建物の内部で解体作業を実施しました。

解体作業は、密閉された負圧状態の建物内で散水をしながら実施しているため、解体時に発生する粉塵が建物外部に漏れ出すことはなく、また、騒音も建物外壁で遮断されてしまうため、外部への影響はほぼないような状況です。



10月末時点では、地上階部分の機器類については全て撤去が完了しました。その後、地下部分へ重機を進入させ、灰コンベアー等を解体しています。また、解体に伴って発生したスクラップ等の有価物、耐火物（耐火レンガ）等の産業廃棄物を分別して、それぞれを適時場外へ搬出し、適切に処理しています。



煙突の外筒解体作業をおこなっています

煙突については、先月から引き続き外筒解体の作業をおこなっています。外筒解体の進捗に合わせて解体機とワークステーションも一緒に下降しているため、解体前には地上から98mの位置にあったワークステーションが、10/27現在で58.4mになり、高さが約40m下がりました。今後も引き続き解体作業を進め、地上から15m（煙突左側の白い建物の高さ程度）に到達するまではこのスタイルで解体をおこないます。



煙突頂部のワークステーションでは、特殊解体機で煙突外筒コンクリートの破砕作業をおこなっています。破砕したコンクリートは煙突内部に落として、地上にて集積しています。また、コンクリート破砕時の粉塵が周辺に飛散しないように、解体機周囲に養生シートを2重に設置するとともに、散水をしながら作業しています。

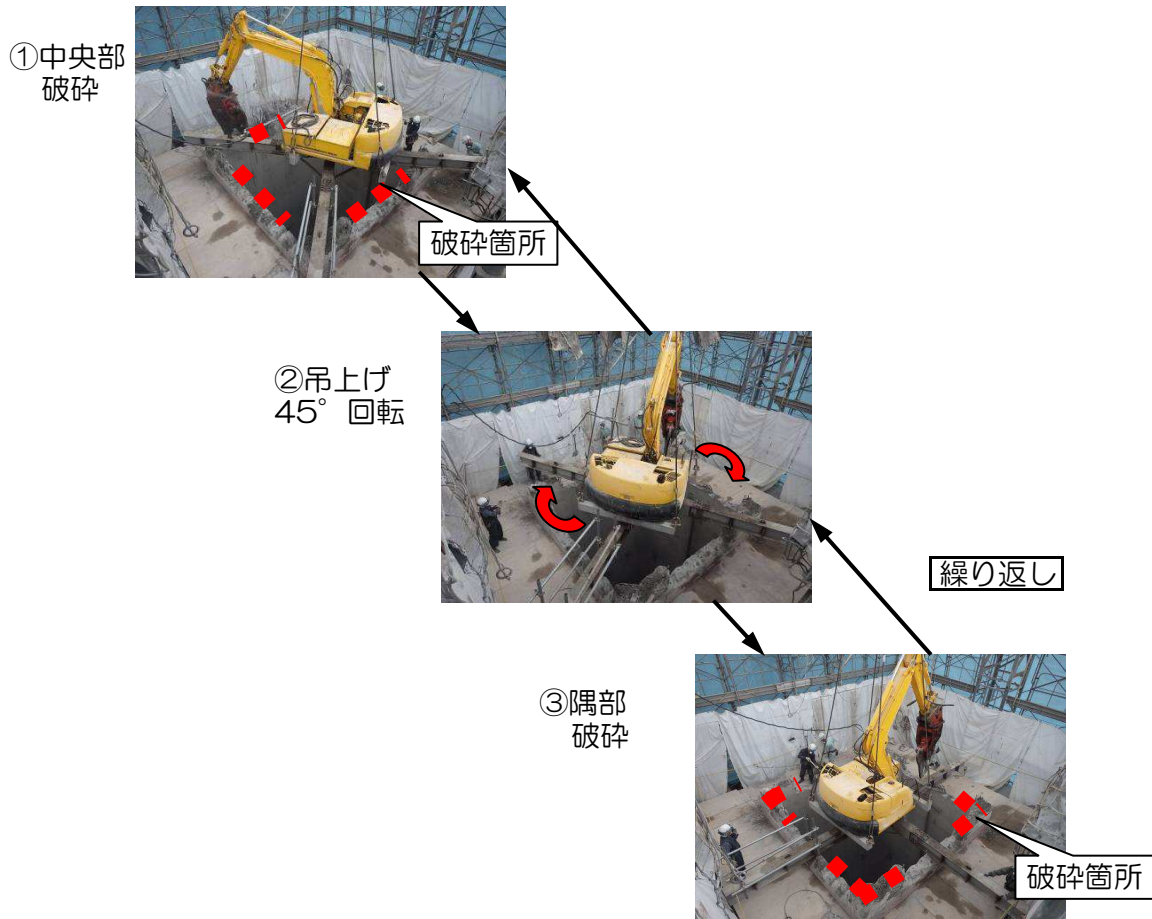


特殊解体機の足元は十字形の鉄骨梁になっており、煙突の上に乗るような姿勢で解体しています。そのため、頂部全周をむらなく壊すためには、足元の十字部分ごと回転させ載せかえる必要があります。

具体的には下の写真をご覧ください。

- ①中央部破砕→②吊上げ45°回転→③隅部破砕

この手順を繰り返して外筒コンクリートの解体を進めています。



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 11月

工場棟の内部機器類解体作業が完了しました

工場棟については、内部機器類の解体作業が完了しました。機器類解体後は建物内面を洗浄・清掃し、監督員の立会い確認をおこないました。また、除染完了後のダイオキシン類汚染対象機器類が全て撤去、搬出されていることも確認しました。



工場棟の建物解体作業を開始しました

内部機器類撤去後の工場棟については、ダイオキシン類による汚染拡散の怖れがなくなったため、ダイオキシン類対策を解除して、通常の建物解体工事と同様に外部から大型重機を使用し、粉塵対策として十分に散水をしながら解体します。工場棟の東側から解体作業を開始しました。



工場棟のアスベスト（レベル2）除去作業をおこないました

昨年の10月末に実施した既存建物内のアスベスト調査において、工場棟内部のボイラー煙突部にアスベスト（レベル2）の使用が確認されました。このボイラー煙突は、下の写真のように工場棟の側壁コンクリートと一体化して設置された煙突で、この煙突の内面にアスベスト保温材が使用されていました。



このアスベスト除去作業にあたっては、除去作業時の周辺への飛散防止対策や、作業従事者の安全を確保する方法について十分検討した上で施工計画を作成し、各種行政届出の手続きをおこなった後、除去工事を実施しました。

具体的には、煙突の屋上部と1階部分に密閉した管理区画を設置して、煙突内を含めた一体の負圧状態とし、その中で煙突内面に超高压水（薬剤を混入した水を使用）を噴射してアスベストを除去する工法で除去作業を実施しました。この工法は、除去作業に水と専用の薬剤を使用することにより、除去作業時の管理区域内のアスベスト飛散を最小限に抑えることができます。

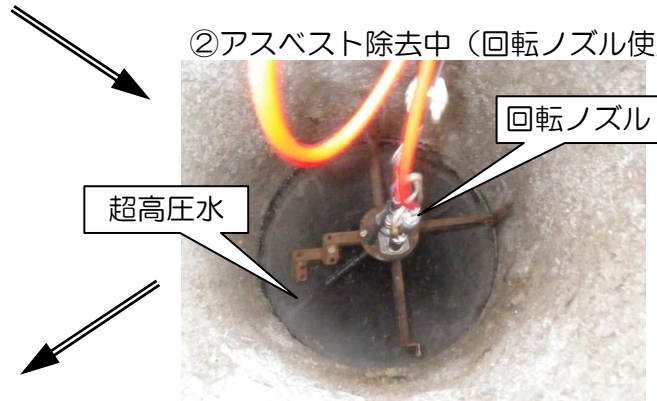


除去作業は、煙突頂部から専用の回転ノズルを入れて、超高圧水を煙突内面に噴射することによって実施します。超高圧水はコンクリートの表面さえも削ることができるほどの力がありますので、内面に付着していたアスベスト保温材が完全に除去され、コンクリートの下地が露出する状態になるまで、徹底的に除去作業をおこないました。また、除去完了後のコンクリート表面には、最終処理として飛散防止処理剤を散布しました。

①除去前（飛散防止剤吹付）



②アスベスト除去中（回転ノズル使用）



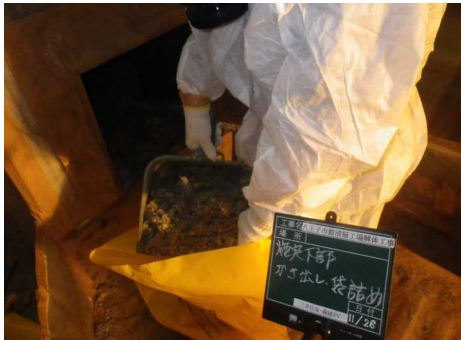
③除去完了



④飛散防止処理剤散布後



除去したアスベストは、専用の薬剤を使用することにより作業時の排水と一緒に固形化して下部に堆積するため、煙突下部にて回収し、袋詰めにして一時保管しました。後日、特別管理産業廃棄物として処分場へ搬出し、適正に処分しました。



煙突の外筒解体作業をおこなっています

煙突については、先月から引き続き外筒解体の作業をおこなっています。11/1には地上から56.6mの位置にあったワークステーションが、11/29現在で26.0mの位置になり、1ヶ月間で高さが約30m程下がりました。地上15.0mの位置まで到達しましたら、ワークステーションと作業用クレーンを撤去して、地上から大型重機で解体する予定です。

